

<都心の生物 博物画と観察録 目次>

はじめに	2
もくじ	6
写真：早春の公園	8
博物画：オオイヌノフグリ	9
ハルノノゲシ	10
ミチタネツケバナ	11
ナガミヒナゲシ	12
オッタチカタバミ	13
カラスノエンドウ	14
都心の春の植物	
冬を越すロゼット	15
早春に咲くオオイヌノフグリ	15
都心の春の草花の色	15
つる植物	15
他者に依存する方法	15
都市の植物	
都市のつる植物	16
都心の緑化植物	16
街路樹	
街路樹の歴史	17
街路樹のはたらき	17
プラタナス	17
博物画：プラタナスグンバイ	18
写真：モミジバスズカケノキ	19
東京都港区におけるプラタナスグンバイの目視観察	
2004年6～8月	20
プラタナスグンバイの成虫越冬状況	
2007年2月	
調査場所：調査方法：調査結果	21
博物画：ヘクソカズラ	22
ヘクソカズラグンバイ	23
雑草について	
身近な雑草の見方	24
公開空地と緑地と雑草	
空き地などの雑草管理	25

雑草を生やさないために? . . .	25
都市の植物の変遷	
街路樹を生物として見る . . .	26
都市温暖化	
都市気候 (urban climate) . . .	26
港区の環境 . . .	27
都市装置としての緑 . . .	27
緑地や街路樹の外来種、益虫と害虫	
ヒトと昆虫の利害関係 . . .	28
博物画：ツゲノメイガ幼虫 . . .	29
ツゲノメイガ成虫 . . .	30
アオドウガネの都市での生態 2002～2015 年	
暖かい地域からやってきた . . .	31
天敵 . . .	31
農作物のない都心でなぜ増える . . .	31
博物画：アオドウガネ成虫 . . .	32
アオドウガネ成虫 . . .	33
都心における不快害虫	
空き地や緑地からの不快害虫の発生 . . .	34
港区内で発生した事例 . . .	34
博物画：ヒメナガカメムシ幼虫 . . .	35
都市害虫	
衛生害虫：不快害虫：生活害虫 . . .	36
博物画：ノシメマダラメイガ成虫 . . .	37
ヤブカ調査用オビトラップに産卵する	
ガガンボ科の1種 2006～2008 年	
新称ニッポンアシワガガンボの観察 2010 年	
ガガンボ科の昆虫 . . .	38
飼育 . . .	38
各成長段階の大きさ . . .	38
2010 年の室内飼育 . . .	38
飼育状況 . . .	38
博物画：ニッポンアシワガガンボ成虫 . . .	39
ニッポンアシワガガンボ幼虫 . . .	40
ハナアブ幼虫 . . .	41
都市装置の中の生物 I. カ	

都市害虫の中で特に気になるのは「カ」	4 2
カが媒介する感染症	4 2
カが媒介する病気	
最も大切なことは、刺されないこと	4 3
ヒトスジシマカ	
感染症の媒介	4 4
生態	4 4
魚がすむような池などにはいません	4 4
子孫繁栄の技	4 4
博物画：ヒトスジシマカ成虫	4 5
ヒトスジシマカ幼虫	4 6
ヒトスジシマカ生息調査	
2000年5～11月	4 7
オビトラップによるヤブカ生息調査	
2002～2011年	
2000年の調査結果	4 8
調査上の注意点	4 8
2002～2011年、10年間の調査	4 8
月別の平均産卵数と累積平均産卵数	4 8
10年間のヤブカ調査をして	4 8
博物画：アカイエカ幼虫	4 9
ライトトラップによるカが生息調査 2004～2005年	
カの調査に光は必要ない	5 0
様々な方法での調査	5 0
ヒトおとり法によるヒトスジシマカ捕獲調査	
2005年6～11月	5 1
集合住宅の雨水枡におけるカが生息調査	
2004年5～11月	
調査場所：調査方法：調査結果	5 2
家庭用殺虫剤スプレーによる雨水枡対策	
2006年5～11月	
雨水枡対策	5 3
カの防除対策を考えて	5 3
調査場所：調査方法：調査結果	5 3
粘着トラップによる雨水枡の昆虫生息調査	
2007～2008年	

簡便な雨水枡の昆虫生息調査の試み

雨水枡の形・・・54

調査方法・・・54

調査結果：捕獲数と種類・・・54

捕獲数の多いハエ目昆虫・・・55

ピリプロキシフェンの影響・・・55

カ類の捕獲状況・・・55

都市装置の中の生物 II. ユスリカなど

飲料水用高置水槽に発生したユスリカ・・・56

飲料水系貯水槽と昆虫の発生について

港区内で昆虫などが発生した事例・・・57

港区以外での事例など・・・57

都市の水環境の管理

貯水槽の防虫構造・・・58

プールの場合・・・58

博物画：アベリア・・・59

都市装置の中の生物

III. 水路際の緑地に発生する昆虫

ハエ誘引トラップによる緑地の昆虫生息調査

2005年6～10月

調査場所：調査方法：調査結果・・・61

自然地形活用型庭園を引き継いだ緑地

国立科学博物館附属自然教育園・・・62

港区緑と生きもの観察会・調査会・・・62

博物画：アブラゼミ・・・63

ミンミンゼミ・・・64

さくいん・・・65

あとがき：中野敬一・・・66

あとがき：中山れいこ・・・67

参考文献・・・68